

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は室温、湿度60%の大気中での吸湿性を示し、(1)は実施例3で得た粉末、(2)は実施例1で得た粉末、(3)はマルテール結晶とマルトリイトール結晶を1:1の割合で混合し、粉末を表わす。

特許出願人 日研化学株式会社

## 比較例1

実施例3と同じ量元麦芽糊水結晶を用い、結晶としてマルテール結晶粉末0.6%を用いて実施例3と同様に処理して粉末化を試みた。しかし、この場合は結晶がほとんど成長せず、溶化しにくく、透明感のあるガラス状の粉末しか得られなかった。この粉末は室温に放置すると数分で固結し、徐々に吸水し溶解した。

## 実施例4

麦芽糊水結晶 (マルテール80%, ソルビトール10%, マルトリイトール13%, デキストリンアルコール3%) 100gを減圧下で蒸発し、含水率7%の最終物を得た。この最終物に結晶として実施例3で得た量元麦芽糊水結晶粉末2.0%を添加し、60%で約1時間混合し、70℃の恒温庫に保存した。次いで得られた固形物を室温に冷却後、乳鉢で砕碎し、元麦芽糊水結晶粉末72%を得た。この粉末は、通常使用されるフィルム包装で室温に放置し長期間(3カ月以上)安定であった。

第1図

